

各 位

上場会社名	株式会社ウィズ
代表者	代表取締役社長 横井昭裕
(コード番号)	7835)
問合せ先責任者	経営企画部長 大関浩一
(TEL)	03-3663-7677)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,545	25	24	20	649.01
今回発表予想(B)	1,350	△67	△59	△61	△2,008.66
増減額(B-A)	△194	△92	△83	△81	
増減率(%)	△12.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	1,514	0	18	106	3,456.89

平成23年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,545	110	105	100	3,245.07
今回発表予想(B)	3,064	100	100	98	3,180.17
増減額(B-A)	△481	△10	△5	△2	
増減率(%)	△13.6	△9.1	△4.8	△2.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	2,868	18	40	83	2,702.30

平成23年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,500	20	20	20	649.01
今回発表予想(B)	1,286	△69	△58	△60	△1,956.09
増減額(B-A)	△213	△89	△78	△80	
増減率(%)	△14.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	1,527	16	37	124	4,029.07

平成23年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,500	100	100	100	3,245.07
今回発表予想(B)	3,000	100	100	98	3,180.17
増減額(B-A)	△500	0	0	△2	
増減率(%)	△14.3	0.0	0.0	△2.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	2,857	37	66	120	3,922.38

## 修正の理由

### 第2四半期累計期間(連結・個別)の理由

連結業績予想の修正理由につきましては、当第2四半期会計期間に入りまして、引き続き株式会社バンダイ向けの「プリキュア」シリーズ関連製品及び新製品であります「Tamagotchi iD Lovely Melody ver.」等を含めました「Tamagotchi iD(たまごっち アイディー)」シリーズの販売がいずれも好調に推移しました。

あわせて新製品シリーズである「デジモンクロスロード」関連製品も堅調に推移したため、OEM製品販売は、予想通りに推移いたしました。

一方で、オリジナル商品販売は、当第2四半期会計期間中において「東京スカイツリーバンク634」、「きゃらったー」等の新商品を発売し、好調に滑り出したものの、業績予想発表時点で予定をしていたオリジナル商品数点が企画・開発の見直し等の事由によりまして発売を延期または中止せざるを得ない状況となったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,350百万円と予想を下回る見込みであります。

利益面では、売上高が194百万円減少すること及び一部オリジナル商品の評価減に伴い、営業損失67百万円、経常損失59百万円、四半期純損失61百万円となる見込みであります。

なお、個別業績予想の修正理由につきましても、連結業績予想の修正理由と同様の内容となります。

### 通期(連結・個別)の理由

連結業績予想につきましては、OEM製品販売は、これまで予想通りに推移し、あわせて下半期(第3四半期会計期間及び第4四半期会計期間)も予想通りに進捗する見込みであります。

しかしながら、オリジナル商品事業に関しましては、一部の商品発売に関して、中止または発売内容を見直すため、売上予想を3,064百万円に修正いたします。

利益面は、売上高は減少いたしますが、通期においては、期初に予想していた粗利率を上回る見込みであります。あわせて、開発費の削減等を含めました固定費の抑制等が見込まれるため、営業利益100百万円、経常利益100百万円、当期純利益98百万円となる予定です。

なお、個別業績予想の修正理由につきましても、連結業績予想の修正理由と同様の内容となりますが、利益面におきましては、固定費の削減等を考慮し、営業利益及び経常利益につきましては、当初の予定からの変更はありません。

以上